

令和元年度

いわての学び希望基金奨学金等受給者から寄附者へのメッセージ

就職者

高等学校卒業 外線技能職

私は、将来電気に携わる仕事につきたいと思い、高校は実業系の高校へ入学しました。高校では 購入した教科書代や修学旅行の旅行代金も支援していただきました。

1年生では普通教科や電気に関する専門科目を学びました。2年生では夢を叶える為に必要な第2種電気工事士を取得する為に、対策を踏まえながら放課後や休日も取り組み筆記試験、実技試験を受験して、合格となり、第2種電気工事士を取得することができました。3年生の時は、就職先を決め、希望先から求人票を待ち、再度決定しました。就職活動として履歴書書きや面接練習に取り組み、8月には、希望先に訪問して実際に仕事を見学しました。希望先での就職試験を受験して、その1週間後に内定通知を頂くことができました。卒業式では高校3年間無欠席の為、皆勤賞を頂きました。

4月からは、社会人としての生活が始まりました。仕事に必要な資格として、4月には「玉掛け」を取得し、5月には、低圧電気に関する特別教育を取得し、7月には、高所作業車の資格を取得しました。社会人としての生活にも少しずつ慣れ、8月の後半からは、約1ヶ月に及ぶ研修に参加してきます。いわての学び希望基金のご支援のおかげで夢を叶えることができました。本当にありがとうございました。

高等学校卒業 金融業

たくさんのご支援ありがとうございました。皆様のご支援のおかげで無事、高校を卒業し、就職先もしっかり決めることができました。中学からやってきたソフトテニスも続けることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

これからは銀行員として地域を支えられるよう頑張りたいと思います。

今までありがとうございました。

専門学校卒業 ゲーム制作

このたびは、奨学金を寄付していただき、まことにありがとうございます。皆様からいただいた温かいお言葉や寄付のおかげで、夢であったゲーム制作の会社に就職を決め、夢への一歩を一步步ずつ進むことが出来ています。

将来は沢山のゲームに携わり、笑顔と楽しさを世界中の方々に伝えられるようなゲームクリエイターになります。

感謝の気持ちを忘れず、これからも応援とご声援をもらいながら日々努力していきます。

本当にありがとうございました。

専門学校卒業 調理

あの日、すべてを流され、家計が厳しそうで、家族にも負担をかけたくないと思ったので、私は就職を選びました。しかし、担任の先生や家族などに、学校には行った方がいいと言われ、「いわての学び希望基金」をはじめ、たくさんの方からの支援のおかげで学校に通うことが出来ました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

専門的な知識だけではなく、仲間とも出会い、楽しい思い出もたくさん作ることが出来ました。今は地元パン屋がないため、夢とは違う職場で働いていますが、いつか必ずパン屋に就職し、一人前の職人になりたいと思っています。

今まで支援をして下さり、ほんとうにありがとうございました。次は私が寄付する側になり、少しでも恩返しをしていければと思っています。

専門学校卒業 調理

この春、お陰さまで無事、専門学校を卒業し、取得した調理師の資格を生かして、保育園の調理員として働き始めました。かわいい子どもたちが、私の作ったおやつ、給食を楽しそうに美味しいって食べる姿を見るのが何よりうれしいです。

奨学金を寄付して下さいありがとうございました。皆様のおかげで今、充実した生活を送っています。

4年制大学卒業 作業療法士

いわての学び希望基金奨学金にはお世話になりました。本当にありがとうございました。お陰様で、大学を卒業し国家試験を乗り越えて無事、作業療法士として働くことが出来ています。震災後から色々と苦難もありましたが、いわての学び基金のご協力があったからこそ、ここまでくることができました。

現在は職場の方、患者様との関わりを大切に一生懸命仕事に努めています。まだ、不安な事はたくさんありますが、日々学ぶことを継続し誰からも信頼してもらえる療法士になれるよう頑張ります。また、同期の仲間と切磋琢磨し成長していきたいと思っています。お世話になりました。感謝しております。本当にありがとうございました。

4年制大学卒業 教諭

いただいたご支援のおかげで、大学に通うことができ、小学校の教員になるという夢を叶えることができました。この恩を忘れず、全力で子どもと向き合うことで、いただいたご支援と温かい気持ちに応えていきたいと思っています。本当にありがとうございました。

4 年制大学卒業 社会福祉関係

皆様にご支援いただき、この春大学を卒業することができました。社会人となり数カ月が経ったところで、職場の雰囲気には慣れてきたものの、まだまだ分からないことばかりで、働くことの大変さを感じています。

何年も奨学金を受けていると、それを当たり前と思うようになってしまっていた部分もありますが、今、あらためて考えてみると、本当に幸せな事だったと思います。これから先のことを考えると、正直なところ不安だらけではありますが、たくさんの方に助けていただいたということを思い出しながら頑張っていきたいと思います。

ありがとうございました。

4 年制大学卒業 福祉関係

私は震災で最愛の母と祖父母を亡くし、家も流されました。その時、柔道をやっていたのですが、震災後柔道をしているどころではないくらい大変でした。しかし、奨学金をいただき、柔道を辞めずにすみしました。進学先でも柔道が続けることができ、夢も諦めずに、就職先でも、ずっとやってきた柔道をする事になりました。それも、寄付者の皆様のおかげです。

私が人生をあきらめずに生きてこられたのは、本当にこの奨学金のおかげだと思っています。

本当にありがとうございました。

4 年制大学卒業 金融業

東日本大震災によって家と親を失い、岩手を離れて以来、この基金の存在が私自身の被災地・岩手との繋がりそのものでした。正直、「普通じゃない」自分にとって被災地ではない「普通」の場所で暮らすことは精神的にも、経済的にも耐え難い苦痛がありました。しかしこの基金の存在によってこれらの苦痛は和らぎ、学びたい分野を学びたい先生から学びながら自身の過去と未来について落ちついて考えることが出来ました。震災やこの基金を通じ一人ひとりの幸せは経済状況に大きく依存することを実感し、この基金のような仕組みやプレゼンスを拡大させる事がこれから必要な事だと考え、私は金融機関で働くことを選択しました。これからもこれら原点を忘れず日々研鑽し続け、寄付して下さったような方々が増えるような社会の実現と、自分自身もそのような人間になれるよう精進します。

最後になりますが、これまでご支援いただいた皆様、事務局の皆様にご心より感謝申し上げます。長きにわたる多大なるご支援、本当にありがとうございました。

4年制大学卒業 栄養士

これまでたくさんの支援をいただき、本当にありがとうございました。私は無事に学生生活を終え、4月から新社会人として岩手県で働いています。当たり前の考え方や日常の暮らしができているのは、皆さんからのご寄付があったことが大きいです。そうでなければ、学生生活を送ることも、夢を叶えて仕事することも困難だったかもしれません。

まだまだ未熟ですが、岩手県で働き、少しずつ恩返しが出来たらと思います。最後になりますが、たくさんのご支援を本当にありがとうございました。私が人生をあきらめずに生きてこられたのは、本当にこの奨学金のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

大学院卒業 講師

父親を震災で亡くしたとき、自分を支えてくれたのは、周りの人たちと、父の面影でした。「男は強く、まっすぐ生きろ」という父の姿は、いまでも自分の中にしっかり残っています。そして、父の言葉どおり、震災以降夢だった「教員」という目標だけをまっすぐ見つめて今日まで生きています。昨年度の教員採用試験は1次試験で落ち現在は講師として、配属先の高校で教壇に立っています。理想とは少し違いましたが、念願だった教師になれて、忙しくも非常に充実した毎日を過ごしています。今年度も教員採用試験を受験しました。結果はまだ分かりませんが、合否に関わらず、今、自分にできることを積み上げていきたいと思います。合格できる日まで、強く、まっすぐに挑み続けていきます。

いま私が、前を向いて生きられるのは、いわての学び希望基金をはじめとする支援があったからです。

この感謝の気持ちを忘れず、次は自分が岩手県に恩返し出来るよう精進していきます。

ご支援本当にありがとうございました。

高等学校 3年生

私は今、大学受験の真最中です。大学では地方の教育格差を是正するために勉学に励む予定です。今は予備校に通っていますが、たまに実家に帰って茶道や料理を楽しんでいます。毎日が勉強づけだからこそ、こういう息抜きが大切に感じられます。

8月にはAO入試の書類提出があり、もし一次が通れば、面接、そしてうまくいけば11月には大学の合格と少し他の受験生より早く受験が終わります。AO入試は合格が難しいですが、できれば11月に受験を終わらせ、入学までの期間を有意義に過ごしたいです。

高校生活も最後の1年となり、思い返すとこの2年間様々な経験をしました。辛いこともあれば嬉しいこと、楽しいことなど今思えばこの経験がなければ今の僕は無いと言っても過言ではありません。また、この2年間のうちに将来の夢も少しづつ定まり、今はその道に進むために勉強しているところです。

これまでの経験全てが、自分一人の力だけでなく、多くの人々の協力や支援があつてこそ、ということをお忘れず、進路実現に向けて努力していきたいです。

「いわて学びの希望基金」に寄付してくださった方々には本当に感謝しています。

震災当時、私は小学3年生でした。当時は、母や祖父など多くの大切なものを失いました。それでも今、幸せな生活を送っていたり、好きな野球に夢中になれるのも皆様のご支援があつてのことだと思っています。

私は今、高校3年生になりました。部活動は硬式野球部に所属していました。チームの目標は「甲子園ベスト8」とし、毎日練習に取り組んでいました。しかし県予選で負けてしまいとても悔しい結果で終わってしまいました。学校では、第一志望の大学に合格出来るように苦手教科の英語や数学に力を入れて勉強しています。また、最高学年として後輩たちの良いお手本なるため行動や態度も意識し生活しています。

今後もご支援を頂きながら、皆さんへの感謝の気持ちを忘れず、これから残りの学生生活や進学先でも新しい目標に向かって頑張っていきます。これからもよろしくお願ひします。

ご支援ありがとうございます。中学生の時からソフトテニスが続けており、高校3年生で引退しました。今まで道具を揃えたり、遠征など不自由なく活動できました。

卒業後は就職したいと考えています。就職できたら、人の役に立つ仕事ができるように頑張りたいと思います。たくさんのご支援、本当にありがとうございます。

この度は、東日本大震災により被災した私を含め多くの生徒を対象にした、いわての学び希望基金奨学金に寄付していただき本当にありがとうございました。私は現在、大学進学を目標に、毎日勉強に精一杯取り組んでいます。私が、大学の金銭面についてあまり深く考えなくても、自分の目標に向かって一直線にすすめるのも、様々な支援事業を皆様がしてくださっているお陰です。

震災が発生した3月11日、私は小学3年生にして母を亡くしました。いつもそばに居てくれて、私の事を応援してくれていたかけがえのない家族が亡くなった時のショックはとても大きく、あの頃は将来の事なんて考えたくもありませんでした。けれども父や、周囲の人々、そして顔も名前もわからない心優しいたくさんの方々のおかげがあり、立ち直ることが出来ました。来年の桜の咲く頃、自分が3年間目標としていたキャンパスに立てるよう、残された時間を一秒たりとも無駄にせず、日々精進していきたいと思います。

「いわての学び希望基金」を通じてたくさんのご支援をいただきありがとうございます。皆様のご支援のおかげで、充実した学校生活を送ることができています。

震災から8年が経ち、当時、小学3年生だった私も高校3年生になりました。私は今、進路達成に向けて勉学に励んでいます。今まで支えてくださった方々に恩返しができるように、地元企業への就職を考えています。採用試験まであまり時間がなく、とても不安ですが、合格に向けて日々努力していきたいと思っています。

震災で家族を亡くし、辛い思いをしていた私たちに手を差し伸べてくださった皆様には感謝してもしきれません。今度は私が困っている人に手を差し伸べられる人間になりたいです。そのために、身の回りの事から自分にできることを少しずつ積み重ねていきたいと思っています。今年で高校生活が最後となります。悔いが残らないように、勉学に励み、何事にも前向きにチャレンジし、感謝の気持ちを忘れずに残りの学校生活を楽しまたいと思います。

最後になりますが、私がここまで頑張ることが出来たのは、今までたくさんのご支援をくださった皆様のおかげです。これからも皆様のご厚意を忘れずに頑張っていきたいと思っています。

寄付をして下さりありがとうございます。寄付をして下さる皆様のおかげで安心して進学する事を考えることが出来ます。私は群馬県の大学に行きたいと考えています。大学へ行き、体育教師になるための免許を取得できるよう、勉学に励みたいと思います。大学へ行って、体育教師になるという夢を叶えるのと女子サッカー一部に入部したいと思っているので、その2つの目標を達成できるように頑張っていきたいです。

いつか体育教師になって、恩返し出来るくらい立派な大人になりたいと思います。いつもたくさんのご支援、本当にありがとうございます。とても助かっています。

この度は、私たち奨学生のために寄附していただき、本当にありがとうございます。私は現在高校3年生で、進学に向けて勉学に励んでいます。しかし、私の友人の中には金銭的な面で進学できない、もっと学びたいのに…、と進学を断念する友人もいます。私も、もし皆様のご支援がなければ断念してしまっていたのかもしれない。そう思うと皆様の温かい支援があるからこそ、今、私が進学を志すことが出来るのだと感謝の気持ちで一杯です。心より感謝申し上げます。

これから夏休みに入り、受験生として精一杯努力し、少しでも学力を向上させたいと思っています。受験勉強中、思うように模試で結果を得られなかったり、集中することが出来なかったりと、様々な困難に直面することも多々あると思いますが、自分の将来をつかみ取るためにも課題を乗り越え、焦らず、一步一步頑張りたいです。第一志望校合格のため、日々の積み重ねを大切に、皆様に良いご報告が出来るよう努力いたします。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

「いわての学び希望基金」に支援してくださってありがとうございます。震災の時、小学3年生だった私も高校3年生になりました。長いようで短い8年間でした。私は将来、高校で学んだ商業系科目を活かせる職に就こうと思っています。今は自分の進路を実現させるために頑張っているところです。8年の間には、ピアノと日本舞踊も習い始めました。日本舞踊は今でも続けています。

先日、3年間続けてきた吹奏楽部を引退しました。たくさん壁にぶつかり、大変な事もあったけれど、顧問の先生や仲間を支えられ、3年間本気で、吹奏楽を頑張ることが出来ました。自分一人だけじゃ出来ないようなことも、仲間がいれば出来るようになるのです。そのようなことから、私は部活動で人と人との助け合いを学ぶことが出来ました。私は吹奏楽が大好きです。大人になっても吹奏楽を続けていきます。

最後になりますが、今までたくさんのご支援をいただき、本当にありがとうございます。これからも何事にもチャレンジしていき頑張っていきます。

寄付者の皆様のおかげで、とても楽しく充実した高校生活を送ることが出来ています。

私は小学校4年生に進級する際に東日本大震災が発生し、父と祖父母をを亡くしました。当時はとても悲しかったのですが、父や祖父母が勉強を頑張りなさいと言っていたことを思い出し、小学校や中学校では勉強と部活動を両立して頑張ることが出来ました。また部活動では全国大会で入賞をすることができ、高校に入学してからは苦しい期間もありましたが、1、2年と全国大会で入賞することが出来ました。そして今年は2年間インターハイに出場できなかった種目での出場が決まり、現在も大会に向けて練習しています。本番では自分の出せる力を全て発揮していきたいと思っています。また、大学でも競技を続ける予定なので、自分の最大の目標である、世界で戦う選手を目指して努力していきたいです。

このように私が頑張りたいと思ったものに向き合うことが出来ているのも寄付者の皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございました。

私は東日本大震災で母を亡くしてから、父親に育てられました。高校へ入学し、こちらの奨学金は震災を受けた人たちに対するお金だということを知りました。私は多くの人たちに助けられているということを実感し、とても感謝しています。

高校では強豪であるサッカー部に所属し、毎日高いレベルの中で友人と切磋琢磨しながら練習に励んでいます。100名を超える部員の中でレギュラーのポジションを掴むのは難しいですが、毎日の練習や自主練習を重ねることで最近では試合に出場することが出来るようになりました。強豪校だけに練習量や遠征も多く、そのたび用具や旅費等、費用もかかりますが、こちらの奨学金によって安心して活動を続けることが出来ました。ありがとうございます。

高校卒業後は就職を希望しています。これまでたくさんの人のお世話になった分、働くことを通じて自分なりに恩を返していこうと考えています。そして自分がしていただいたように震災や災害にあってしまった方の少しでも助けになれるように、立派な社会人になりたいと思います。最後になりますが、いわての学び希望基金に携わる皆様に重ねてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。

学校に通うための奨学金を寄附していただきありがとうございます。私は将来、地元で保育士として働きたいので、専門学校に進学し保育についての知識や技術を身に付けたいと考えています。進学を希望している専門学校は校舎の2階に保育園があり、そこで実習が出来ます。実習が多いため、2年制は忙しくて大変な事もあると思いますが、実践力を身に付けるために頑張りたいです。保育士になるためには、ピアノを弾けるようになることも必要だと思いますが、私は小学生の頃にピアノを習っていたことがあるので、簡単であれば練習すれば弾けます。進学を希望している専門学校では120台以上のピアノがあり、プロの先生がピアノを教えてくださいるので、今よりももっとピアノが上手に弾けるようになるために頑張ってお練習したいです。

本当にいつもありがとうございます。

私は、今の高校に特別な理由もなく入学しましたが、担任の先生のおかげですごく楽しい学校生活を送ることが出来ました。担任の先生は私に「今でもあまり勉強しないが、心は成長した。」と言って下さりました。そんな先生がいる高校に入れたのも皆様の寄付のお陰です。ありがとうございました。

高校を卒業したあと、専門学校でイラストの描き方について学ぶ予定です。とても学費の高い学校なので、奨学金をいただけてすごくありがたいと思っています。

これからも私は、生きていく為にがんばっていきたいと思います。

いわての学び希望基金に寄付していただき、本当にありがとうございます。私は大学に進学したいと考えていたのですが、高校まで育ててきてくれた親には自分のためにお金を使ってほしいと考えていました。しかし、まだ高校生の自分には、大学に入れるほどのお金を貯めるのは難しい状態でした。そんな時、いわての学び希望基金に寄付を下さっている皆様おかげで、親にこれ以上お金の面で迷惑をかける心配がなくなり、とても安心しました。

私は大学に進学したら、観光学部に入り、世界と日本をつなげる旅行代理店に就職して、日本のこれからの発展に貢献していきたいです。大学に入学後は、周りの人の支援に感謝し、その支援にしっかりこたえ応える為に、一生懸命頑張りたいと思います。

そしていわての学び希望基金の寄付をしてくださっている方々やこれまで支援していただいた人のことを忘れず、社会に出て会社や日本の発展に貢献することで、ご恩を返したいと思います。ありがとうございます。

震災で被害にあった私たちに資金を寄付してくださりありがとうございます。私は震災で家や母親などを失いましたが、寄付してくださった皆様のおかげで専門学校に進学する事ができ、心から感謝しています。

私は情報系の専門学校に進学し、将来はシステム開発をしていきたいと思っています。そのため私が希望する専門学校に進学する事ができたら、資格取得をめざし、しっかりと勉強に励んでいきたいです。本当にありがとうございます。

いわての学びきぼうききんで支援してくれてありがとうございます。
毎日学校で、作業やうんどうをがんばっています。

震災当時小学3年生だった私は、現在高校3年生になり、おかげさまで元気に生活することができています。私は東日本大震災で母を亡くしました。当たり前居た人が突然居なくなり、この先どうなるのか、どうすればいいのかわからなかった私を心の底から支えてくれたのは家族や多くの友人でした。また、日本中、世界中からの温かいご支援は前を向く希望を与えてくれました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

今年高校3年生ということで受験生であり、来年は大学受験が控えています。私は大学では経済学を学び将来に生かしたいと考えています。このような自分の目標を持つことが出来るのは寄付してくださった皆様のおかげです。本当にありがとうございます。この自分の目標に向かって勉学に励み、ご支援していただいた方々に恩返しができるよう、社会の役に立てる人間になりたいと思います。本当にありがとうございました。

この度は、「いわて学びの希望基金」を通じて沢山の支援をして頂き有難うございました。支援して頂いたお陰で充実した高校生活を送ることが出来てます。私はソフトテニス部に所属しましたが、最初は部員の中でも1番上手くない所からのスタートでした。そんな私ですが、仲間の助けや指導者の方々の力を借りなんとか2年半やり切ることが出来ました。何度も「辛い、辞めたい」と思うことはありましたが、この部活を通して協力するということがどれだけ大切かを改めて知ることが出来ました。

また、この高校生活を通じて、理学療法士という夢が出来ました。部活では、けがをすることも多く、リハビリという言葉がより身近に感じるようになりました。それからリハビリを通して人の体のサポートをしたいと思うようになりました。そのためにはコミュニケーション力や技術が必要だと思うので、大学に進学し、理学療法士に必要な力と知識を学び身につけたいと思っています。進路達成に向けて、これからの日々を無駄にすることなく頑張っていきます。最後になりますが、今まで沢山のご支援をいただきありがとうございました。これからもご支援よろしくお願いします。

いわての学び希望基金に奨学金を寄付していただき、ありがとうございます。寄付をしてくださった方々のおかげでいつも勉学に励むことが出来てとても助かっています。高校生活を楽しく過ごせたのは寄付して下さっている方々の助けがあったからだと思います。進路は介護関係の学校へ進学をしたいと考えています。

これからも勉学にはげみたいと思っているので、ご支援よろしくお願いします。

この度は、ご支援いただきありがとうございます。将来の夢に向かって楽しく勉強したいと思います。就職した場合も一生懸命働きたいと思います。本当にありがとうございました。

日頃から奨学金の寄付、ありがとうございます。私は最近高校野球を引退したばかりの高校3年生です。皆さんの寄付のおかげで小学校から始めた野球を中学校、高校まで続けることが出来ました。おかげで仲間や支えてくれる人の大切さを知ることが出来ました。

今は、大学受験に向けて勉強に取り組んでいます。経済学部のある関東の私大に進学しようと考えています。正直、受験勉強を始めるのはこの夏からなので不安もあります。それでも寄付していただいていることへの感謝と自覚を持ち、最後まで自分を信じて取り組みたいと思います。

大学を卒業した後はスポーツメーカーに就職したいと考えています。

ご支援を下さっている皆様、本当にありがとうございます。震災により、一般の人とは違くなってしまった自分が他の人と同様、学校に行き、自分で自分の将来を決めることが出来るのは、皆様のご支援によるものだと思います。

今、私は、将来NGOやNPOで遺児を支援するために、大学で情報学を学び、色々な情報を発信していきたいと思っています。そして日本国内だけではなく、世界を視野に入れて活動したいです。そのため大学に進学するとともに、2年生になってから1年間海外ヘインターンシップに行こうと考えています。今のところはウガンダに行こうかと考えていて、そこで実際に支援する人たちや現地の人たちと触れ合い、将来のかてにしていきたいです。

私は東日本大震災にて被災し、遺児となり、多くの方々に支援してもらって生きてきました。だからこそ、将来自分が大きくなった時は支援する側になりたいと強く思っています。最後に、私が将来のビジョンを持てたのは支援してくれる方々がいてくれたからです。本当にありがとうございます。

私は硬式野球部に所属しており、先日高校3年間の集大成となる夏の大会がありました。結果は県予選上位入賞でチームの目標としていた甲子園へは届かずに終わりました。私は試合に出ることはありませんでしたが、試合に出ているチームメイトの一生懸命なプレーを見て、結果には満足しています。

部活も終わり次は受験へと切り替えていきたいと思っています。私は大学進学を考えており、志望校へ合格し、夢を叶えるために苦手科目である科学と数学を中心に勉強に力を入れていきます。また、私は海洋生命学部のある大学へ進学したいと考えています。そのため必要となる生物にも力を入れたいです。親にも負担を掛けないように、早いうちに大学を決めたいと思います。そのためにも今年の夏は苦手科目の勉強に力を入れ、夏休みを有効に使えるようにします。

私は東日本大震災で父を亡くしました。震災後は、家族7人に対して働き手が母1人という経済的に厳しい状況に陥りました。また4人兄弟で、学費もとてもかかる状況でした。奨学金がなければ高校に進学する事も困難だったかもしれないし、ましてや大学進学を目指す事などかなわなかったと思います。今、こうして楽しく学校生活を送れていること、大学進学を目指して勉強できること、全て奨学金を寄付してくださった皆様のおかげだと思っています。本当にありがとうございます。

そんな皆様に対して、私ができる最大の恩返しは第一志望の大学に合格する事ではないかと考えます。センター試験までの時間もあと半年というところまで迫ってきましたが、正直、今の学力では第1志望の大学に入ることは難しいし、センター試験の点数によっては受験させてもらうことすらできないかもしれません。しかしあと半年、あきらめずに進路実現に向かって努力し絶対に合格したいと思っています。

私は今、こうして「いわての学び希望基金」のおかげで学校へ行き勉強できている状況にとっても感謝しています。「いわての学び希望基金」があるから、今日も明日も一歩踏み出せる、そして将来にも踏み出せると私は強く感じています。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

私は大学を目指して毎日勉強に励んでいます。しかし部活も3年生ということもあり、時間は全くと言って良いほど余裕がありません。そこで私はすべての時間を有効に活用するために「スキマ時間」というものを大切にしています。授業の間などの時間を使い勉強しています。このままいけば学力向上は十分に期待できると思います。勉強も部活動も頑張り、充実した高校生活を送りたいです。そして志望する大学に入りたいです。これからは「いわての学び希望基金」への感謝を忘れずに前進していきたいです。本当にありがとうございます。

いつも、いわての学び希望基金に寄付していただきありがとうございます。いただいたお金は学業や部活動で使う用具やその他の費用として使わせていただいています。

私はプロ野球選手になりたいという夢を持っています。今はプロ野球選手になるために日々練習を頑張っています。先日、全国高等学校野球選手権大会岩手県予選がありました。この大会は高校野球最後の大会で、プロ野球選手になるためのアピールの場でもありました。結果は途中で負けてしまい、優勝することはできませんでした。初戦から数試合ありましたが、チーム全員で戦い抜くことが出来、上位戦まで行く事ができました。甲子園大会に行くことは出来ませんでした。この仲間との切磋琢磨した日々はとてもかけがえのない時間となりました。この仲間と過ごした時間を忘れず、野球の道に進んでいけたらいいと思います。そして、甲子園に行けなかった仲間の分も上のステージで頑張りたいと思います。そのためにも残された時間を一生懸命生きていきたいと思います。

私は東日本大震災で母、弟、祖母を亡くしました。父1人で私を育てることはとても辛かったと思います。私は柔道をしているので、増量・減量のため、かなり食費がかかります。それに加えて学校生活でもかなりのお金がかかるので、「いわての学び希望基金」によって、私はもちろん、父も仕事に集中することができました。私は父の経営している電気屋を継ぐことにしました。そのためにはお金がとてもかかります。メーカーの研修や道具・仕事用の車。しかし、皆様の支援のおかげで、私の進路でお金に困ることはほとんどないと思います。

この感謝を私は将来電機屋になることが出来たら、町のため、地元のために精を尽くして働き、今度は感謝する側ではなく、される側になれるようがんばります。これからは皆さまから頂いた気持ちに応えるためにも、人のために私ができることは積極的に行い、いつかは、私の生まれ育った町へ戻り、地域を引っ張る存在になれるよう、町が津波が来る前の活気があふれていた時に戻れるように微力ながら頑張りたいと思います。

「いわての学び希望基金」に支援してくださっている方々、本当にありがとうございます。震災から8年が経ち当時小学3年生だった私も、今は高校3年生となりました。5月の高校総合体育大会まで、私は陸上部に所属していました。部活では毎日楽しく、充実しながら練習することができ、最後の高総体では自己ベストを出すことができました。

部活が終わったあとは進路実現へ向けて頑張っています。私は進学を希望していて志望校も決めました。進学先ではコミュニケーションやビジネス実務について学び、将来の夢の医療事務職につなげていきたいと考えています。そして今度は私が接客を通して、患者さんたちの不安を和らげていきたいと考えています。実現するためにもまずは志望校に合格することを頑張っていきます。たくさんの支援のおかげで毎日充実して過ごすことができます。本当にありがとうございました。

「いわて学び希望基金」に支援くださった皆様、本当にありがとうございます。おかげさまでとても充実した学生生活を日々送ることができています。私は今、毎日楽しく過ごしています。辛いときや苦しくて逃げ出したい時もありましたが、周りの友達のおかげでのりこえることができました。

私は、高校から柔道を始めました。それまでは小学校、中学校とサッカーをやってきましたが、自分は格闘技が好きだったことや友達に柔道をやってみないかとさそわれたので、おもいきって始めてみました。そして3年間柔道を続けて、柔道初段をとることができました。そしてそこで学んだことは、相手への感謝の気持ちです。決して1人ではできない競技であり、対手がいてできるものだからです。

私は今、作業療法士になることが夢なので、それを叶えるために勉強を頑張りたいです。

いつも「いわての学び希望基金」を通じて、私の学校生活を支えて下さり、ありがとうございました。またこうした日頃の感謝を述べる機会を与えて下さりありがとうございます。私は小学3年生の時に東日本大震災を経験しました。父と祖父を亡くし、母子家庭になりました。私には姉が2人いて、2人とも私立大学に進学していることもあり、お金の面ではとても苦労していて、学ぶことがあたり前でない中、皆様のご支援のおかげで、夢に向かって学習できていることをとても喜びに感じ、感謝しています。

私は将来、国際系の職業に就きたいと考えています。そのため私立大学に進学をしようと考えています。これを機に改めて自分は多くの人に支えられていることが分かりました。直接的なのはもちろん、間接的にも支えられていることがとても多かったです。だからこれからは、たくさんの人からの支援を無駄にすることがないように、大学に進学してからも勉学に励み、卒業して就職してからは、今度は自分が支える立場になり、たくさんのご支援に対してより多く恩返しができるよう頑張っていきます。これからもご支援よろしく願います。

私はあの東日本大震災で母を亡くしました。優しく面白くて、時には叱ってくれたりしたそんな母が大好きでした。母が亡くなったと私たちに父が話してくれた日に、父は母はもういないけど、心の中にいるのだ、だからまた家族みんなで力を合わせて頑張ろうと言っていました。私は小学校の時はかなり悪がきだったと思いますが、この大震災があったこともあり少し成長したのかなと思います。

私の家は上には姉、下には妹がいる3人きょうだいで、父1人の収入では生活するのに、かなり慎重に考えながら物事を決めていったと思います。お金の面でも苦しかったと思います。

私は中学校の時、初めて陸上競技に出会いました。それがきっかけで高校でも陸上競技をしました。高校の3年間、陸上競技を続け、最後の年に東北大会まで出場することができました。陸上競技を続けられることができたのは、たくさんの支援をいただいたからだと思っています。学校生活でも、教科書やたくさんの行事の費用など、いろいろな所で支援していただきました。本当に感謝の言葉しかできません。本当にありがとうございました。

「いわての学び希望基金」に寄附をしてくださり、本当にありがとうございます。震災の時、小学3年生だった私も高校3年生になりました。改めて、今こうやって震災前と同じような生活ができていることはあたり前のことではなく、とても幸せなことだと感じています。そして、支援して下さった方々のおかげだと思っています。ありがとうございます。

部活動は3年間、書道部に所属していました。作品では特に篆書に力を入れて取り組みました。最後に書いた作品も細字で篆書を書いて、今まで3年間書いてきた分、自分の納得のいくものに仕上げることができたと思います。パフォーマンスでは、この3年間で、様々な場所でパフォーマンスをすることができてとてもうれしかったし、いろいろな経験をすることができました。

高校卒業後は、美容系の専門学校に進学し、美容部員を目指したいと考えています。専門学校に進学しても、この「なりたい！」という気持ちを忘れず、何事にもあきらめず、取り組んでいきたいです。

最後になりますが、今までたくさんのご支援をしてくださり本当にありがとうございます。

これまで、いわて学び基金を支援して頂きありがとうございました。奨学金が学校でかかる経費などに充てられ、お金に不自由することなく学業に専念する事ができました。とても感謝しています。

私は6月に部活を引退して、今は日々受験勉強を頑張っています。私は大学に進学し、商学を学びたいと考えています。「いわて学び希望基金」のおかげで勉強に専念できるので、今後も受験勉強に努めていきたいと考えています。

この度は、いわての学び希望基金にたくさんの寄附をしていただき、誠にありがとうございます。現在高校3年生となり、ようやく志望校を決めることができました。試験まであまり時間がなく、とても不安ですが、合格へ向けて日々の勉強を続けていきたいです。特に英語と数学に力を入れて勉強しています。無事に大学に合格する事ができたら、現時点で小学校教諭になるという目標を持っているので、大学卒業後は岩手県で教師として働きたいと思います。そして、教師になったら、いつも笑顔で子どもたちと共にごんばっていきたいと思います。

これまでたくさんの支援があったおかげで、私の進路に対する選択の幅が広がりました。充実した学校生活を送ることができ、感謝の気持ちでいっぱいです。今後もご支援を頂きながら、皆さんへの感謝の気持ちを忘れずに勉学に励み、毎日の学校生活を楽しみながらも、進路達成に向けて、日々努力していきます。これからもよろしくお願い致します。

支援をしていただきありがとうございます。私はこの寄付のお陰で不自由なく勉学に励むことが出来ます。私は将来看護師になりたいと考えています。そのために日々の学習を大切にし、積極的に行事にも参加しています。震災後多くの方々から支援していただいたことを忘れず、感謝の気持ちを恩返ししていけるよう頑張ります。

教科書購入費や部活動にかかるお金を僕達に寄付してくれてありがとうございます。おかげで勉強や部活動に専念できています。今後は専門学校に進学しようと思っています。そして自動車関係の仕事に就こうと思っています。そのために今、一生懸命勉強をがんばっています。自動車関係の仕事に就いたらお客さんに安全に乗ってもらえる車を作れるようにがんばります。ありがとうございました。

今、私は、鍼灸師の資格を得るために専門学校へ通っています。
東洋医学の歴史は深くおもしろいです。
ツボを覚えるのがすごく大変ですが、勉強は面白く、学校も楽しいです。
まだ1年生ですが、しっかり頑張ります。